13 ■渡り鳥の憩う海岸のグリーンベルト

青山海岸林（新潟市）

■環　境：森林
■対　象：一般
■期　間：4月上旬～10月中旬

渡り鳥が上空からこの海岸林を見たなら、日本海を縁取る緑色の帯が美しく見えるのではないだろうか。住宅地のさざめきも、海辺に寄せる潮騒もこの林の中ではほとんど聞こえてこない。鳥たちのかすかなささやきに耳を傾けてみよう。

青山海岸林は、新潟市の海岸線のほぼ中央に位置し、幅400m、長さ約2㎞で、住宅地と海に挟まれたベルト状に伸びる松林で、防砂・防風林としての役割を持つ。一年を通して市街地の身近な場所で鳥たちの生活を見ることができ、春と秋には渡りの途中羽を休める山の鳥たちにも出会える林である。

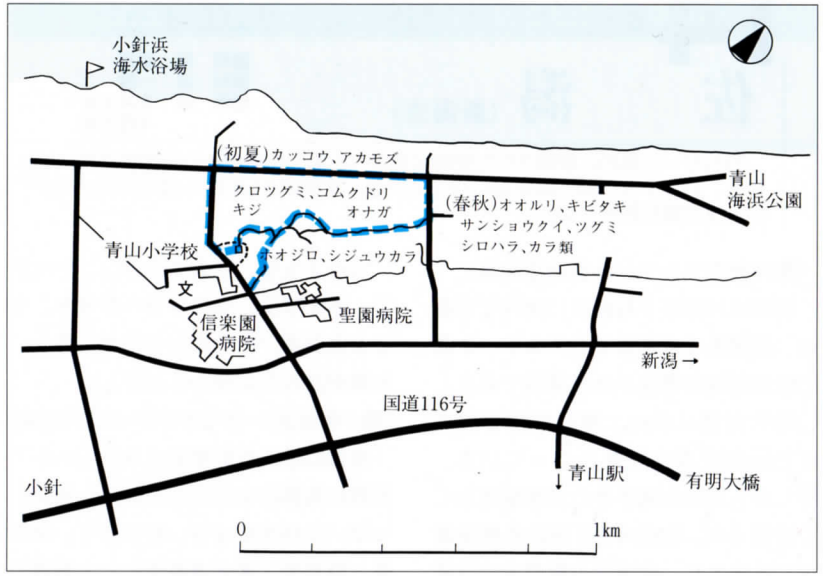
初夏には**クロツグミ**や**アカモズ**、**コムクドリ**等が繁殖し、そのさえずりを楽しむことができる。また**サンコウチョウ**や**ツグミ**の繁殖も記録されている。

近年、林内を横切る道路の完成や新しい斎場の建設で、環境が変わりつつあるものの、残された林にはまだ魅力が残っている。

〈春の渡り〉

春はまだ**ツグミ**、**カシラダカ**等の冬鳥が残る林に、北へ渡る途中の**ムシクイ**の仲間や**ヒタキ**類が羽を休め、暖かい日にはさえずりの練習を始める。4月下旬には**オオルリ**、**キビタキ**などが観察され、**コマドリ**や**コルリ**の声も聞かれる。**ビンズイ**や**サンショウクイ**が鳴きながら上空を移動するのもこのころで、一番多くの鳥たちに出会える時期となる。

赤松の林が海岸沿いに続く



〈秋の渡り〉

秋は、**ヒタキ**の仲間や**メボソムシクイ**や**センダイムシクイ**など**ムシクイ**類の渡りが9月下旬から見られるが、10月に入ると**ツグミ**の仲間も増え始め、にぎやかになってくる。特に**マミチャジナイ**は警戒心が強く、なかなかゆっくり見ることができないが、**シロハラ**とともに林の中で羽を休めていく。

カラ類も混群をつくり、忙しそうに移動していく。

林の縁のあたりで待っていると上空を南へ移動する小鳥たちの幾つもの群れを見ることができる。

（伊藤　浩）

メモ

交通　ＪＲ新潟駅から「五十嵐１の町」行き、または「内野」行きのバスで、「信楽園病院前」か「聖園病院前」下車、徒歩5分。

Ⓟ　関屋分水左岸の公園駐車場。青山小学校わきには、大きな駐車スペースはない。

探鳥会　地元の「にいがた野鳥の会」の探鳥会が、例年春（４月下旬）と秋（10月下旬）に開催されている。

さらに足をのばして…　海岸林を抜けて浜辺に出るとシギやカモメたちの姿を見ることができる。毎年８月には日本海夕日コンサートが行われている。